

# 卒業する君へ 黒板アートでエールを!

問 教育委員会庁舎学校総務課 (内線 7104)

市内小中学校の卒業式が行われた3月13・17日、伊奈中学校、伊奈東中学校、十和小学校、谷原小学校の教室に、黒板アートが描かれました。つくばみらいライオンズクラブが企画したこのサプライズは、多摩美術大学、武蔵野美術大学、女子美術大学の学生が各クラスごとに異なるテーマで黒板アートを描き、前日におよそ9時間かけて完成させました。教室に入って初めて黒板アートを見た卒業生は歓声を上げ、黒板いっぱいに描かれた黒板アートに見入っていました。



▲記念撮影をする十和小学校の卒業生と美大生



十和小学校の黒板アート。黒板いっぱいに咲き誇る桜を、白とピンクのチョークで表現。



谷原小学校の黒板アート。「旅立ち」をテーマに、日の出とともにカモメと桜が舞う様子を描いた。



伊奈中学校3年1組の黒板アート。白のチョーク一本で、未来へ向かって生きる生徒を描いた。



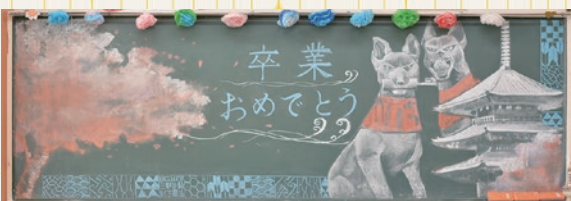
伊奈中学校3年2組の黒板アート。雪の降る夜、こちらを振り返る生徒と空を走る列車を描いた幻想的な作品。



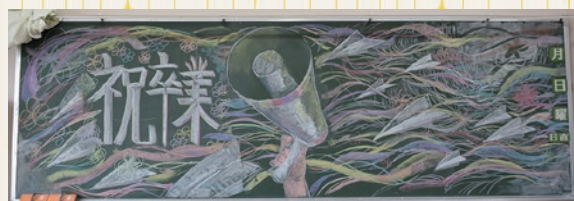
伊奈中学校3年3組の黒板アート。秋の合唱コンクールで指揮を執る生徒を、イチョウの葉とともに描いた。



伊奈中学校3年4組の黒板アート。吹奏楽コンクールや夏空に広がる積乱雲、鮮やかに咲く向日葵を、爽やかに描いた。



伊奈中学校3年5組の黒板アート。春の修学旅行の思い出を、清水寺の三重塔や伏見稻荷大社の狐像で表現。



伊奈東中学校3年1組の黒板アート。紙飛行機とメガホンで、未来へ飛び立つ生徒へのエールを表現。



伊奈東中学校3年2組の黒板アート。葛飾北斎の富嶽三十六景中の絵をモチーフにした、力強い作品。

卒業生の皆さんの記憶に残る素晴らしいアートでした!

